

## 平成27年度 租税教育に関する研究発表要項

山元町立坂元小学校

教諭 佐竹 聡子

### 1 研究主題

税金の役割を理解し、税金の必要性を感じられる児童の育成  
～「坂元の復興と税金とのかかわり」を考える学習を通して～

### 2 主題設定の理由

本学級6学年1組の児童は「税金」という言葉は多く児童が知っているが、税金がどんな目的で集められ、どんなものに使われているのか税金の役割を正しく理解している児童はほとんどいない。さらに、「消費税が8パーセントに増えた」「消費税は払うのが面倒だ」とマイナスのイメージをもっている児童も少なくない。

本校は2011年3月11日の東日本大震災で講堂（体育館）とプールが被災し、使用できなくなった。本学級の児童が第4学年のとき（平成25年度）に、新しい体育館とプールが完成し、再び使用できるようになったが、その建設に関わる費用にも税金が使われている。さらに、坂元のまちには新市街地や新坂元駅が建設中であり、児童たちは、震災からの復旧と開発が進んでいる様子を間近に感じている。

以上のことから、小学校6年生の段階では、税金に対して興味・関心をもたせ、税金の大切さを理解させることが必要である。また、自分たちの学校や地域の復興と税金とのかかわりを学習することによって、税金の役割やその必要性をより身近なものとして感じられるようになるのではないかと考え、この主題を設定した。

### 3 研究目標

税金の役割を正しく理解し、税金の必要性を感じさせ、将来のまちづくりや復興を支える「よき納税者」としての意識や態度を育てる。

### 4 研究方法

- (1) 児童の税金に関する意識調査を行い、実態を把握する。
- (2) 実態をもとに、税金の意義や役割について概要を理解させる。
- (3) 山元町税務課の資料をもとに、学校や町の復旧・復興と税金のかかわりについて知り、税金の必要性について考えさせる。
- (4) 税金についての学習を通して「伝えたいこと」をポスターにまとめ、発表させる。
- (5) 事後調査を行い、税金に関する意識の変容を考察する。

5 研究の計画

9月	意識調査
10月	実践授業
11月	研究のまとめ, 発表

6 研究の概要

(1) 税に関する意識調査 (30名回答)

①税金について知っていることはありますか。(複数回答あり)

- ・消費税 (14名) ・納税 (1名) ・年金になる (1名) ・値上げした (1名)
- ・5パーセントから8パーセントになった (4名)
- ・知らない・分からない (7名)

②税金を払う人はだれですか。(複数回答あり)

- ・分からない (10名) ・親 (8名) ・物を買う人 (4名) ・大人 (2名)
- ・みんな (3名) ・国民 (2名) ・大人 (2名)

③税金に対するイメージはありますか。

- ・払うもの ・政治家が使うお金 ・高い ・細かくて面倒 ・嫌なイメージ
- ・消費税 ・負担がかかる ・増えた ・納めない人がいて困っていると聞いた。

④税金はどんなことに使われますか。(複数回答あり)

- ・分からない (9名) ・国のことに使われる (6名)
- ・警察の道具 (3名) ・公務員の給料 (3名) ・教科書 (2名)
- ・消防・水道・年金・貿易のお金・被災地に送られる・建物を建てる (1名)

⑤税金は必要だと思いますか。

○必要 (4名)

- ・被災地が復旧するのに必要だと思う。
- ・年金がもらえなくて困る人がいるから。
- ・法律で払うとなっているから、払うべき。

○どちらかといえば必要 (7名)

- ・警察の道具などに使うから必要だと思う。
- ・国はお金をためないといけないから必要だと思う。

- ・公務員の給料が払えなくなるから。
- ・税金を払わないと困る人がある。
- ・何となく必要だと思う。

○必要ない（2名）

- ・税金が高いから。

○分からない（17名）

- ・税金が何に使われているか分からないから、必要かどうか分からない。
- ・税金があった方が楽なのかどうか分からない。
- ・必要ないかもしれないし、役に立っている人もいるかもしれないから。
- ・深く考えたことがない。

#### 《考察》

税金について知っていることは、自分たちの生活経験から「消費税」を挙げる児童が多かった。また、消費税のイメージからか、税金とは「払うもの」「細かくて面倒」「増えた」などという意見が多くあり、あまり良い印象をもっていないことが分かる。税金というものがあることは知っているが、それがどんな役割をもち、どんなものへ使われているのかを正しく理解していない児童がほとんどである。また、「必要かどうか」という問いに対して、必要性について考えられないという児童が半数以上を占めており、税金についての知識が乏しいことが分かる。

以上のような実態を踏まえ、税金についての正しい知識を付けさせ、税金に対する必要性を児童自ら感じられるように学習を進めていく必要があると考えられる。

#### (2) 指導計画（7時間扱い・総合的な学習の時間）

段階	主な学習活動	時間
事前調査	・税金に関する意識調査に取り組む。	
① 学習の見通しをもとう	・意識調査をもとに、税金について学習したいことを話し合い、これからの学習について見通しをもつ。	1
② 税金について知ろう（基本編）	・「わたしたちの税金」をもとに、税金の種類や身近な使われ方などの概要を知る。	1
③ 税金について知ろう（坂元小編）	・山元町の税務課からの資料をもとに、坂元小学校に使われる教育費や体育館・プールの復旧費について知る。	1
④ 租税教室	・税の専門家の話を聞き、これまでに学習してきた内容について確かめ、学校や身の回りのこと以外にも税金が使われて	1

	いることを知る。	
⑤ 税金の使われ方を確かめよう（坂元のまち編）	・坂元のまちの復興の様子（新坂元駅周辺）を見学し、町づくりのどんな部分に税金が使われているのかを実感する。	1
⑥ 税金について話し合おう。	・これまでの学習で得た知識や考えをもとに、税金は必要かどうか話し合いをする。	1
⑦ 税金について分かったことを伝えよう	・税金についての学習を通して、他の人に知ってほしいことをポスターとしてまとめる。	1
事後調査	・税金に関する意識調査に取り組む。	

### (3) 実践の概要

#### ①税金について話し合おう

<ねらい>

- ・意識調査の結果をもとに、これからの学習についての見通しをもつ。

<内容>

- ・税金についてどんなことを知りたいか意見を出し合う。

<児童の意見>

- ・税金について知らないことが多いので、くわしく学びたい。
- ・なぜ税金があるのか。
- ・税金はどんなことに使われるのか。
- ・国民のためになっているのか。
- ・税金にはどんなものがあるのか。
- ・どんなことに役立つのか。
- ・誰が、どんなことに使うのか。
- ・税金の仕組みについて知りたい。
- ・絶対払うものなのかどうか。

#### ②税金について知ろう（基本編）

<ねらい>

- ・税金とはどんな種類があるか、税金の使い道は何かをすることで、税金に対する興味・関心を高める。

<内容>

- ・宮城県租税教育推進協議会からいただいた「わたしたちの暮らしと税金」のパンフレットを用いて、「税金の種類」や「学校で使われている税金」について調べる。

税金にはどんなものがあるかパンフレットをもとに、消費税のほかにもいろいろな税金があることを調べた。（所得税、法人税、固定資産税、自動車税など。）また、それぞれ集められた税金は、国や県、市町村へ行き、「みんなのために使われる」ということを学習した。

- ・学校に使われている税金について調べる。

税金は、町づくりや消防・警察など様々なところで使われているが、児童にとって身近な



「学校で使われている税金」について、パンフレットをもとに調べた。(机やいす、教科書、学校にある学習用具、校舎など)

<児童の様子>

・「わたしたちのくらしと税金」を使い、所得税、法人税、固定資産税などの名称とそれぞれどんな税金かを調べた。また、「学校で使われている税金」を調べている際に、教科書の裏に「この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。」という記述を見つけた児童がおり、全員で書いてある内容を確認した。さらに、校舎が税金でつくられたなら、体育館やプールも税金でつくられたものではないかと考える児童もいた。

・児童の発言や感想

「税金は、学校の中の物にたくさん使われていることが分かった。」

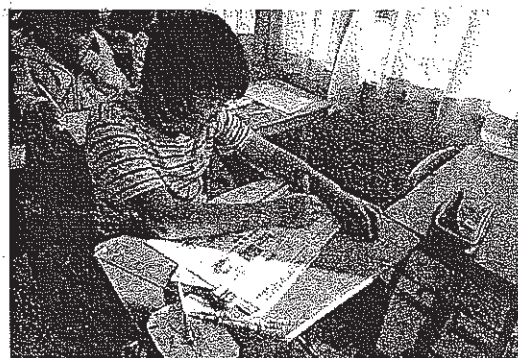
「みんなから集めたお金を自分たちに使われていることが分かった。」

「税金は親が払うものだと思っていたけれど、消費税は自分も払っていると分かった。」

「学校の中のものを丁寧に使って、無駄に使わないようにしたい。」

・児童の変容

税金の使われ方を知らない児童がほとんどであったが、自分が使っている机やいす、教科書に税金が使われていると知り、「自分たちのためにも税金が使われている。」と、税金をより身近なものとしてとらえることができた。



③税金について知ろう (坂元小学校編)

<ねらい>

・山元町の税金の使われ方のうち、坂元小学校の施設の復旧費や教育費などを知ることによって、税金に対する必要性を考えさせる。

<内容>

・山元町税務課の方からいただいた平成25年度の山元町の税金の資料をもとに学習をする。  
○なぜ、税金が増えたのか話し合う。

平成25年度の山元町の税金は総額486億円だが、数年前は50億円程度だったことを伝え、どうして約9倍に増えたのかを考えさせた。児童たちは「震災の復興のため」「堤防

をつくるため」「新市街地をつくるため」などと、震災にかかわって使われる税金が増えたことにすぐに気が付いた。

○486億円のうち、坂元小学校の復旧にかかわる金額を知る。

坂元小学校の体育館とプールは震災の影響で使えなくなってしまったため、その復旧にかかった費用が、復興推進費から出ており、体育館を建てるために、およそ3億5千万円、プールは9千万円の費用がかかり、全て税金でまかなわれていることを知らせた。

#### <児童の様子>

- ・児童は「体育館とプールにそんなに大金が使われていたなんて知らなかった。」「税金がなかったら体育館やプールはつくることができなかった。」などと話し、自分たちのために税金が使われていることを実感したようであった。また、自分たちの学校の復旧に税金が使われているということを知り、税金の必要性を感じることができたようだった。
- ・学校の復旧のほかにも、町の復興のために税金が使われているかもしれないと考える児童もいた。(新市街地や、新坂元駅、高速道路、災害復興住宅、山下のいちご団地など)

※③「税金について知ろう(坂元小編)」の学習をするにあたり、山元町税務課の方に学校に来ていただき、坂元小学校の体育館とプールの建設にかかわる費用や、学校教育費について資料をいただいた。

- ・資料①山元町の広報紙「広報やまもと」平成25年度決算報告
- ・資料②「議会だより」25年度の目で見える事業
- ・資料③平成25年度各種会計決算附属資料

#### ④租税教室

##### <ねらい>

- ・これまでの学習内容を確かめ、学校などの身近なもの以外にどんな使われ方をするのか理解する。
- ・税金の必要性を理解できるようにする。

##### <内容>

・仙台南間税会に来ていただき、租税教室を行った。税金に関するクイズや豆知識、税金の種類や使われ方などを分かりやすく教えていただいた。また、視聴したDVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」は、税金がなかったら生活が不便になってしまうという内容であった。

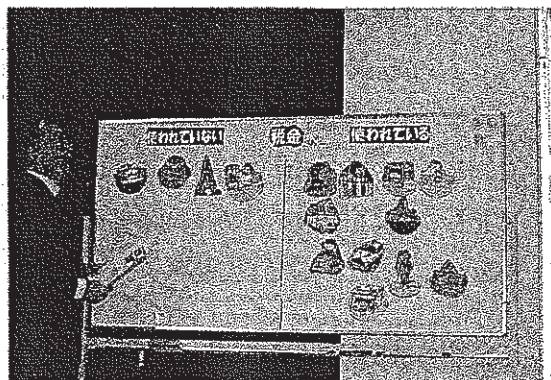
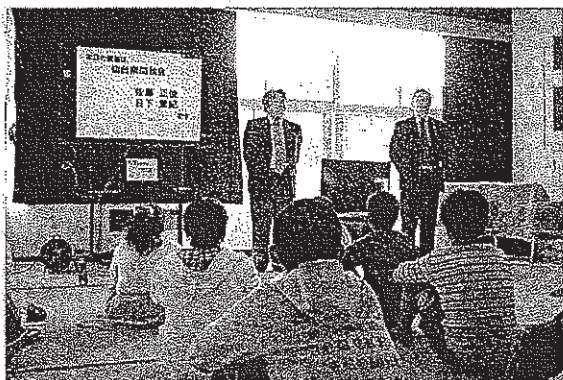
##### <児童の感想>

- ・税金のことはよく知らなかったけれど、くわしく教えていただいたので、税金はいろいろなことに使われていることが分かった。
- ・税金がなくなると、火事を消すのにお金がかかったり、学校に通うのにたくさんお金がかかったりして、大変だと思った。

- ・税金は悪いイメージがあったけれど、税金がないと困ることが分かった。
- ・政治のことに興味があって、自分でも税金について調べたことがあったから、今回くわしく教えてもらってうれしかった。

#### <児童の様子>

- ・どの児童も熱心に話を聞いていた。特にDVDの上映では「税金がなくなると大変なことになる」ということに気付くことができた。租税教室を通して、警察や消防、公共施設の運営、修理などに税金が使われていることを知り、社会生活を成り立たせるために税金は不可欠だということを理解することができた。



#### ⑤税金の使われ方を確かめよう

##### <ねらい>

- ・坂元の新市街地や新坂元駅の周辺を見学することによって、まちの復興には税金が使われていることを理解し、必要性を考える。

##### <内容>

- ・J R東日本常磐復興工事区の協力をいただき、新坂元駅周辺の新市街地の建設の様子を見た。J R新坂元駅の工事自体は、J Rの資金で行っているが、山元町内の高架橋の一部や線路の建設については税金からまかなわれていることを教えていただいた。
- ・建設中の新坂元駅のホームに上らせていただき、そこから見えるまちの復興の様子を見た。J Rの方から、駅のまわりのロータリーや、新市街地の建設については町の発注だということを知っていただいた。
- ・学校に戻ってから、復興と税金のかかわりについて話し合いをした。

##### <児童の様子>

- ・沿岸に近いまちの様子を見て、復興の進み具合を肌で感じることもできたようだった。
- ・学校に戻ってからの話し合いの様子は以下の通りである。
  - (1) 復興していると感じた様子について。
    - ・がれきがなくなり、まちがきれいになった。
    - ・新しい道路や新しい家があった。



- ・新しい坂元駅がもうすぐできる。
- ・高速道路ができた。もうすぐ、坂元インターもできる。

(2) 復興が進むと、町はどう変わるか。

- ・まちがきれいになって住みやすくなると、住民の人たちが元気になり、笑顔が増える。
- ・被災した方々の新しい家ができて、生活がよくなる。
- ・駅や高速道路ができて、便利になる。
- ・お店を失った人が新しくできる商店街で再スタートができる。
- ・山元町に来たいと思う人が、来やすくなって、いちごなどを買ってもらえる。
- ・山元町に住みたいという人が増える。
- ・山元町は、もっといいまちになる。

(1)(2) の話し合いを通して、児童は皆、坂元の復興が進むことに期待感を持っていることが強く感じられた。そして「がれき処理」「坂小の体育館・プール」「新市街地」などのまちの復興を進めるためには税金が使われているということを確認し、税金の必要性をより深く感じる事ができた。

⑥税金について話し合おう。

<ねらい>

- ・これまでの学習をもとに、税金は必要かどうか話し合うことで、税金の必要性を理解する。

<内容>

- ・「税金は必要か、必要ではないか」というテーマで、これまでの学習をもとに、自分の意見を持ち、学級全体で話し合いをした。

<児童の意見>

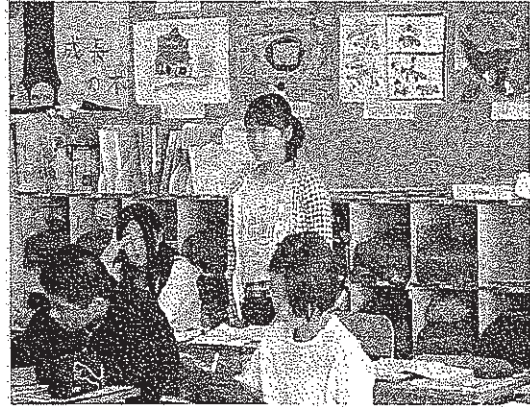
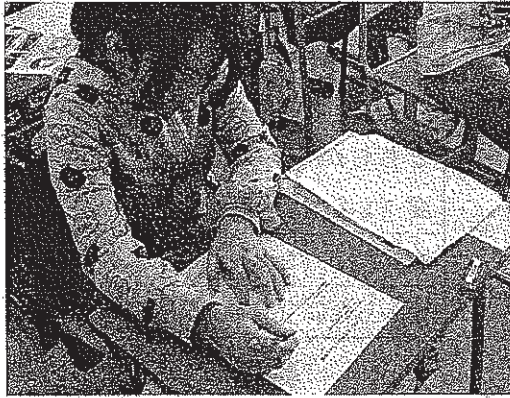
○必要である

- ・税金は、みんなが豊かに暮らせるためにあるもので、みんなでお金を出し合って暮らしているけれど、税金がないと全部自分たちで払わなければならないから。
- ・学校で使うものなどを全て自分たちで払うとなると、学校に通えない人も出てくるかもしれないから。
- ・公共のものや、学校のものに税金が使われるから。
- ・全国からの少しずつのお金で、大きなお金になり、効率よく使うことができるから。
- ・豊かな生活にするために、税金は必要だから。
- ・町のために使われて、みんなが住みやすく、安心できるようになるから。
- ・町の復興のために使われ、いろんなところの修理をしているから。
- ・必要ではあると思うが、税金が多すぎると、生活が大変になる。

○必要ないという意見をもつ児童はいなかった。



以上のような話し合いを通して、「みんなが少しずつ税金を出し合うことで、みんなの生活が支えられる」「税金は助け合いだ」と税金の意義をまとめた。



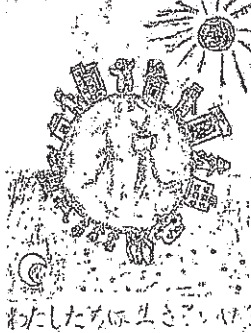
⑦税金の学習をまとめよう

<内容>

- ・これまでの学習で学んだことから、税金について伝えたいことを絵はがきにまとめる。

<児童の作品>

税金があるから



わたしたちの生活を支える

税金でみんなの生活を支える



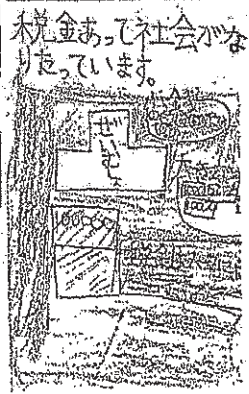
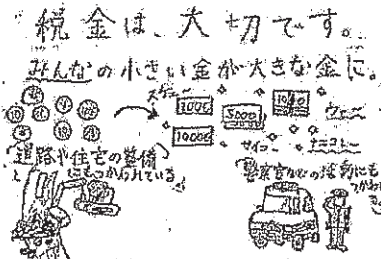
税金ははらえば町は  
いろんな実になり  
心でできるくらになり  
豊かになる!!

税金で、私たちが  
学べてる!

学校で使われる税金



みんなの税金がたまるの!!



(4) 事後調査 (30名回答)

(1) 税金は必要か

事前調査	事後調査
必要 (4名)	必要 (28名)
どちらかと言えば必要 (7名)	どちらかと言えば必要 (2名)
必要ない (2名)	必要ない (0名)
分からない (17名)	分からない (0名)

(2) 税金の学習は必要か

必要である (28名)

どちらかと言えば必要 (2名)

- ・知らないことが多かったけれど、税金についてたくさん知ることができたから。
- ・マイナスなイメージがあったが、必要性を感じられたから。
- ・税金の大切さが分からず、社会に出て、税金を納めないようになると困るから。
- ・大人になったら、必要な知識だから。
- ・払わなくてもいいと思っている人は、税金がないとどうなるか知ったほうがいい。
- ・自分たちも払うものだから、その意味を知るには必要。 など

必要ない (0名)

7 研究の成果と課題 (○成果 ▲課題)

○自分自身、学校、地域など、だんだんと視点を広げながら、税金の使われ方について学習を進めたことにより、税金は自分たちのために使われているという実感をもたせることができた。

○自分たちの生活になくてはならない「復旧や復興」と税金を結びつけながら考えたことで、税金の必要な理由をより強く感じることができた。

○まとめの学習では、一人一人が自分の意見をもち、税について伝えたいことを表現しようと、進んで絵はがきづくりに取り組むことができた。

○税金の学習をしている期間に、児童のいすが全員分新しくなった。児童たちは「これも税金を使って、買ってもらった。」と気づき、「税金で買ってもらったものだから大事にしよう。」「大切に使おう。」などという意識が高まっていることが分かった。

▲児童たちは、税金の必要性は十分に感じることはできたが、税金の種類や仕組みなどは専門的な言葉や知識が多く、理解するには難しかった。今後も機会をみて、税金に関連した内容について理解をうながすよう、働きかける必要がある。





